

平成 25 年度 新潟市防災会議 第 10 回 津波対策専門会議

日時 平成 26 年 3 月 27 日 (木)

午前 10 時から 12 時まで

場所 新潟市役所 本館 3 階 本部会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) ハザードマップの市ホームページ掲載について

(2) ハザードマップについて

ア 表紙・参考図面

(ア) レイアウト

(イ) 4 つの地域の説明・解説内容

イ 地図面

(ア) スケール (区・中学校区) と表示図 (浸水深図・地域分け図)

(イ) 浸水深図及び地域分け図での表示する色

3 閉会

配布資料

資料 1 津波避難地図 (表紙・学習面) (案)

資料 2 津波避難地図 (参考図) (案)

資料 3 ホームページ公開用 津波避難地図 (浸水深図) 各区版 (案)

資料 4 津波避難地図 (浸水深図) 関屋・白新中学校区版, 味方中学校区版 (案)

資料 5 津波避難地図 (地域分け図) 中央区版, 西区版 (案)

資料 6 津波避難地図 (地域分け図) 関屋・白新中学校区版, 味方中学校区版 (案)

新潟市防災会議 津波対策専門会議 名簿

分類	委員種別	所属 役職	氏 名	備考
学識経験者	専門委員	新潟大学危機管理室 教授	田村 圭子	
	専門委員	新潟大学災害・復興科学研究所 助教	井ノ口 宗成	
地域住民の代表	防災会議委員	北区自治協議会 委員	高谷 行雄	
	防災会議委員	東区自治協議会 委員	五十嵐 初司	
	防災会議委員	中央区自治協議会 委員	藤田 孝一	
	防災会議委員	西区自治協議会 委員	石丸 幸子	
地域団体	防災会議委員	にいがた女性会議 運営委員	塩沢 啓子	
防災関係機関	専門委員	北陸地方整備局 総括防災調整官	渡部 長務	
	専門委員	新潟県警察本部 警備第二課長 (警備第二課長補佐)	山口 春平 (川瀬 芳幸)	代理
市関係部署	防災会議委員	新潟市消防局 局長 (消防局 次長)	米田 修 (上ノ山 徹)	代理
	専門委員	新潟市都市政策部 部長	池田 博俊	欠席

学識経験者	テクニカルアドバイザー	新潟大学災害・復興科学研究所 准教授	安田 浩保	
-------	-------------	-----------------------	-------	--

平成
26
年度

新潟市津波避難地図

共通版

新潟市には津波災害の危険があります

地震が起こったら 直ちに避難!!

この津波避難地図はしまわずに、常に見える場所に掲示して、家庭・学校・職場・地域で活用してください。

活用1 津波のおそろしさを学ぼう
この津波避難地図を活用し、津波についての基礎知識を身につけましょう。

活用2 津波からの避難路を考えよう
この津波避難地図を用いて、自宅・学校・職場からの避難経路を考えましょう。

活用3 津波避難を体験しよう
安全な場所まで避難する訓練を実施し、実際に身体をつけて試してみましょう。

堤防を巨大津波が越えて町を飲み込んで行く様子 平成23年東日本大震災発災当日の岩手県宮古市役所周辺 宮古市提供

津波による4つの地域特徴

沿岸・沿川地域

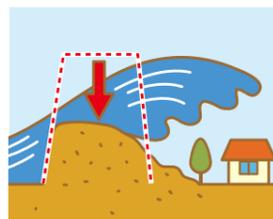
緊急避難地域

津波警報を待たずに、直ちに高台や避難ビルへ避難!



海岸近くでは津波の力が非常に強く、建物などの構造物を破壊する力を持ちます。海岸近くでは土地が高くとも、津波が勢いよく押し寄せ、被害が出る可能性があります。

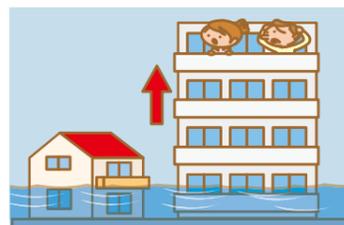
河川沿いでは、まずは、地震の揺れによって、堤防等が倒壊し、津波の発生前でも地域に河川からの浸水が発生する恐れがあります。続いて、河川を遡上(そじょう)してきた津波の強い力で堤防が破壊され、被害がさらに拡大する恐れがあります。津波襲来までに「時間的余裕のない地域」です。津波の情報を待たずに、すぐに高台や避難ビルに避難しましょう。



低平地浸水地域

長期浸水地域

高台や避難ビルなど堅牢な建物(コンクリート造)の高層階に直ちに避難!



海岸から比較的離れた地域においても、河川を逆流してきた津波の浸水が広い地域で起こります。一度浸水すると、自然に排水されにくく、地域に浸水の状況が長く続くことが想定されます。

できれば、地震発生直後に移動を開始し、津波被害の想定されていない地域まで避難することが理想的です。地域に留まると、長期の浸水(たんすい)により、避難生活が長期化することになります。

津波による低平地浸水 平成23年東日本大震災 宮城県亘理町

河川遡上地域

早期避難地域

河川沿いから直ちに離れて! 高台や避難ビルに避難!



信濃川を遡上する津波 昭和39年新潟地震 新潟地方気象台提供

津波は、海岸域で被害を発生させるだけでなく、川を駆け上りながら、河口から遠く離れた内陸の川に沿った地域にまで甚大な被害を与えます。これが「津波の河川遡上(そじょう)」です。川沿いから1キロ離れた場所でも、河川遡上の影響を受ける恐れがあります。また、船・木材などの漂流物が逆流し、思わぬ破壊力を持つことがあります。早期に避難をすることが必要です。できるだけ川から「遠く、高く」へ避難を実施してください。

避難者受け入れ地域

津波浸水地域外の人は避難者について受け入れを準備!



津波による浸水の影響がないことが想定される地域です。しかし「想定外」の地震災害発生により、浸水の危険が全くないわけではありません。十分に注意してください。この地域では、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待されます。

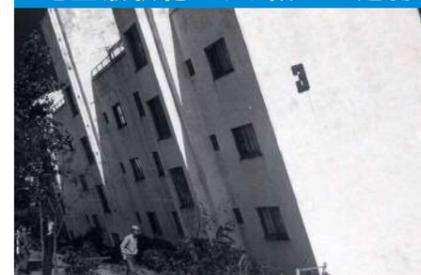
津波の前には地震がやってくる

地震のゆれによる建物倒壊

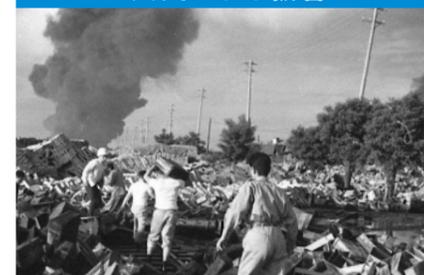


新潟県提供

地盤液状化により傾いた建物



火災による被害

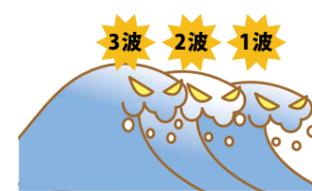


昭和39(1964)年新潟地震では、津波襲来の前にこのような被害が発生しています。これらの状況にも注意しながら、津波から避難をしましょう。

津波についてもっと知ろう

2波、3波と繰り返す

津波は二度三度繰り返してきます。必ずしも第1波が最大とは限りません。津波注意報や津波警報が解除されるまで注意しましょう。



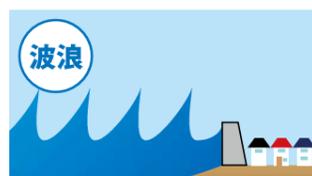
沖合いはジェット機、陸上はオリンピック選手なみの速さ

津波を確認してからでは、間に合いません! ゆれや津波警報が発表されたら、避難を始めてください。津波は沖合ではジェット機速度に匹敵し、陸上ではオリンピックの短距離走選手なみの速さです。人が走って逃げ切れるものではありません。



恐るべき津波の破壊力

津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までの全ての海水が巨大な水のかたまりとなって海岸に押し寄せ、その破壊力はすさまじいものとなります。また、引き波も長時間にわたりひき続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



表紙写真 宮古市の事例を参考にしましょう

外国で起こる地震にも注意しましょう(遠地(えんち)津波の発生)

日本ではゆれを感じなくとも、外国で起きた地震が、津波の被害を発生させることがあります。海岸や川沿いに出かけるときは、ラジオを持って行きましょう。



津波に関する情報に注意を!

状況は刻々と変化します。いったん安全を確保してから、情報の入手につとめましょう。

津波警報・注意報とは…

気象庁では津波による災害の発生が予想される場合に、大津波警報、津波警報または津波注意報を発表します。沿岸部での地震では、津波が警報の発令より早く到達することがありますので、ご注意ください。

予報の種類	予想される津波の高さ/数値での発表			巨大地震の場合の表現*
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	10m (5m<高さ≤10m)	5m (3m<高さ≤5m)	巨大
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)			高い
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)			(表記しない)

*マグニチュード8を超える巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。

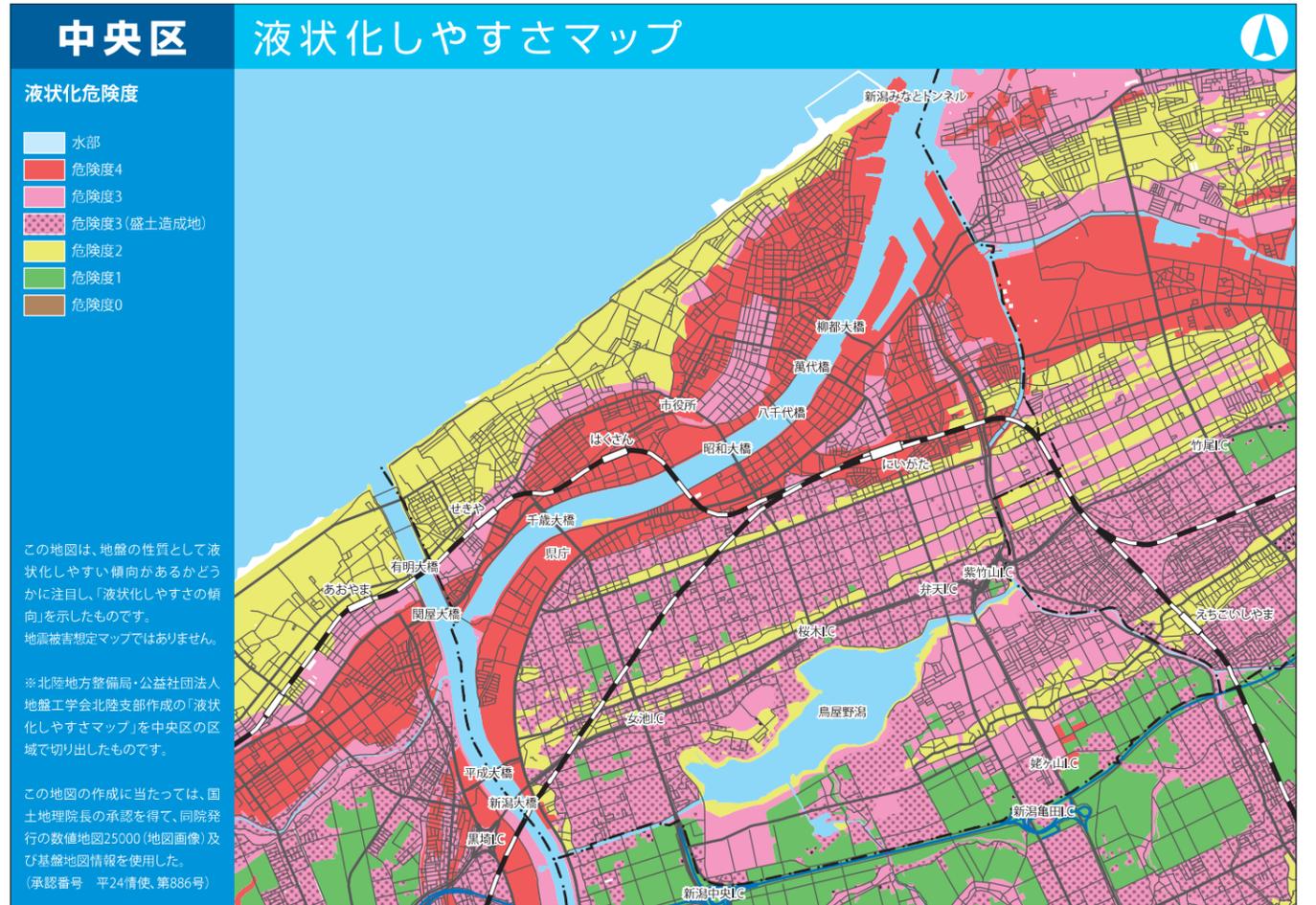
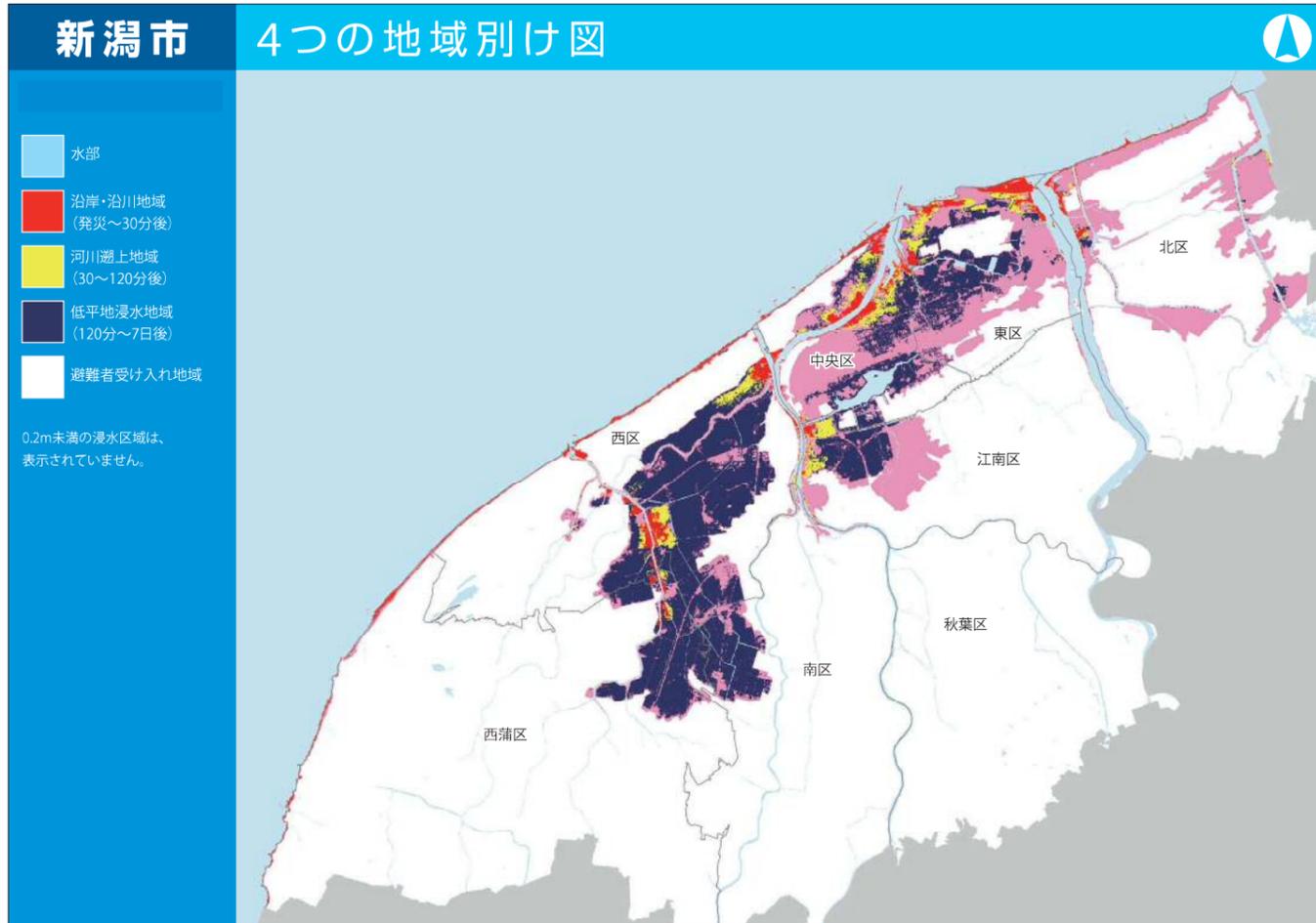
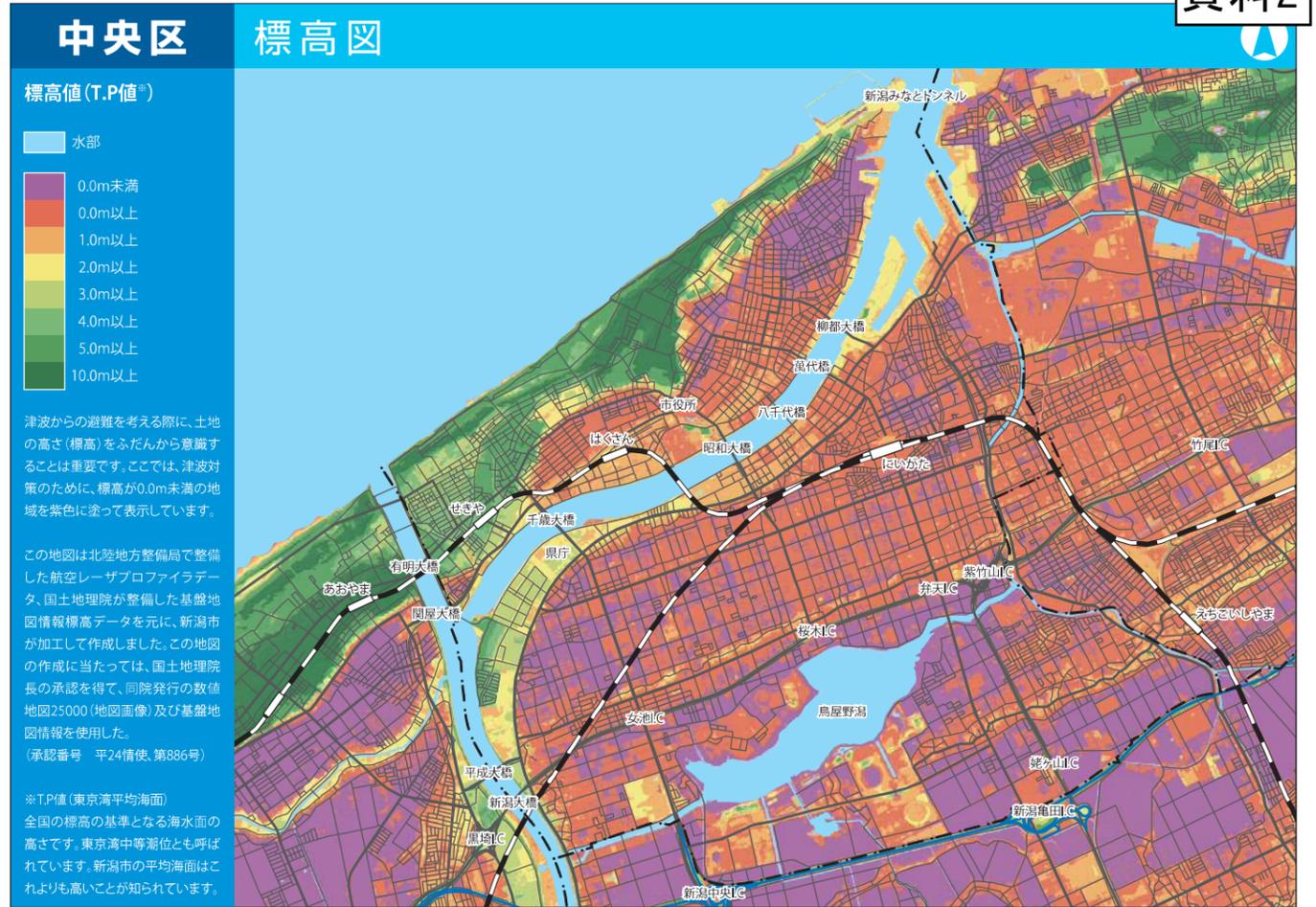
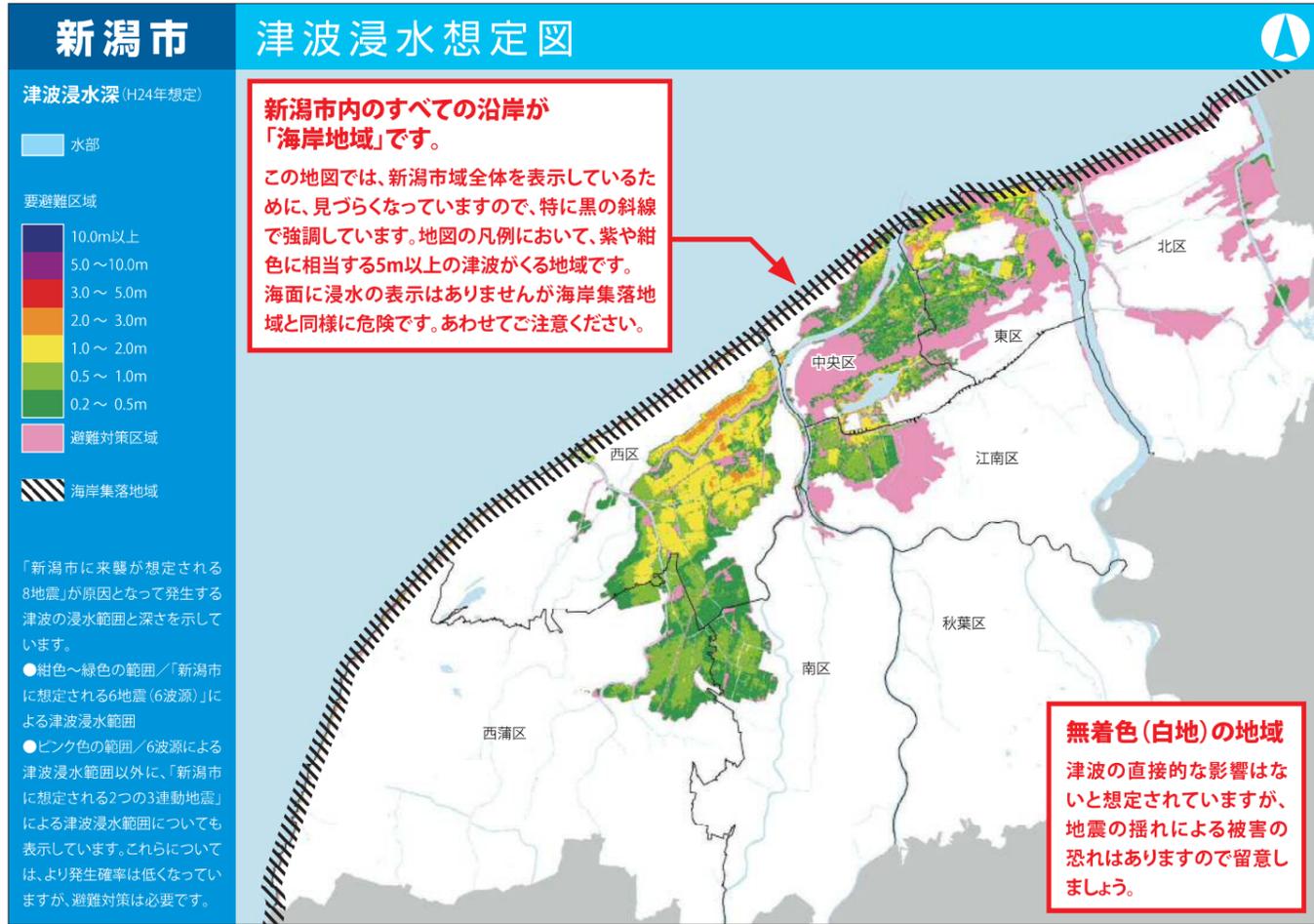
情報の入手方法は…

沿岸部・河口部に設置された「屋外スピーカー(同報無線)」、「緊急速報メール(地震・津波)」が受信可能な携帯電話・スマートフォン、災害時に自動受信が可能な「緊急告知FMラジオ」その他、テレビやラジオ



新潟市 危機管理防災局防災課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1-602-1 TEL:025-226-1143 FAX:025-224-0768 E-mail:bosai@city.niigata.lg.jp



中央区津波避難地図

大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。
新潟市に来襲が予想される6地震津波（『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西縁断層帯地震』『高田平野西縁断層帯地震』の6波源）の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。
また、6地震（6波源）による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。
白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

我が家の津波避難場所・津波避難ビル
防災メモとしてご使用ください。

自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先（遠方の親戚・知人・病院等）

氏名 施設名		氏名 施設名	
住所		住所	
電話番号		電話番号	



● は、津波避難ビル (○年○月末日時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。



● は、津波避難場所 (○年○月末日時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。



凡例

新潟県津波浸水想定 (H25年度) 要避難区域 →



● 津波避難ビル ● 津波避難場所

— 高速道路 — 主要道路 — その他の道路

*避難対策区域とは、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第886号)

我が家の津波避難場所・津波避難ビル

自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先

(遠方の親戚、知人、病院等)

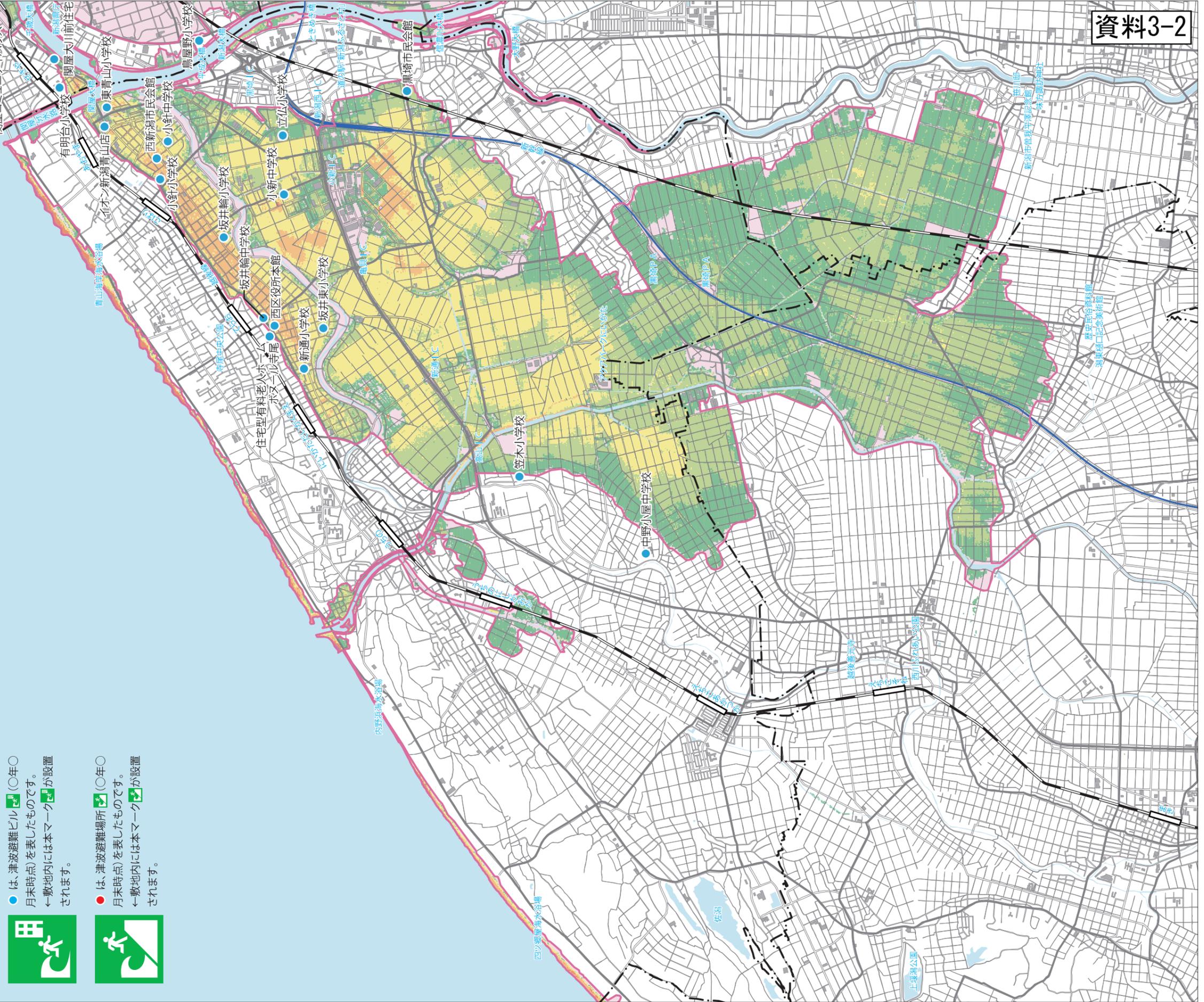
氏名 施設名	
住所	
電話番号	
氏名 施設名	
住所	
電話番号	

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。新潟市に來襲が予想される6地震津波（『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西縁断層帯地震』『高田平野西縁断層帯地震』の6波源）の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。また、6地震（6波源）による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

西区津波避難地図

大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

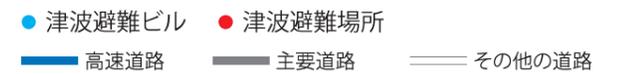


- は、津波避難ビル (○年○月未時点) を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。
- は、津波避難場所 (○年○月未時点) を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。



凡例

新潟県津波浸水想定 (H24年度)



*避難対策区域とは、6地震（6波源）による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) 及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第886号)

北区津波避難地図

大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。
 新潟市に来襲が予想される6地震津波(『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西縁断層帯地震』『高田平野西縁断層帯地震』の6波源)の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。
 また、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

我が家の津波避難場所・津波避難ビル
 防災メモとしてご使用ください。

自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先(遠方の親戚・知人・病院等)

氏名 施設名		氏名 施設名	
住所		住所	
電話番号		電話番号	



- は、津波避難ビル (〇年〇月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。
- は、津波避難場所 (〇年〇月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。



凡例 新潟県津波浸水想定(H24年度) **要避難区域** → ■ ~0.5m 未満 ■ 0.5~1.0m 未満 ■ 1.0~2.0m 未満 ■ 2.0~3.0m 未満 ■ 3.0~5.0m 未満 ■ 5.0~10.0m 未満 ■ 避難対策区域*

*避難対策区域とは、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。
 この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第886号)

津波避難ビル 津波避難場所
 高速道路 主要道路 その他の道路

東区津波避難地図

大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。
新潟市に来襲が予想される6地震津波(『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西縁断層帯地震』『高田平野西縁断層帯地震』の6波源)の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。
また、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

我が家の津波避難場所・津波避難ビル
防災メモとしてご使用ください。

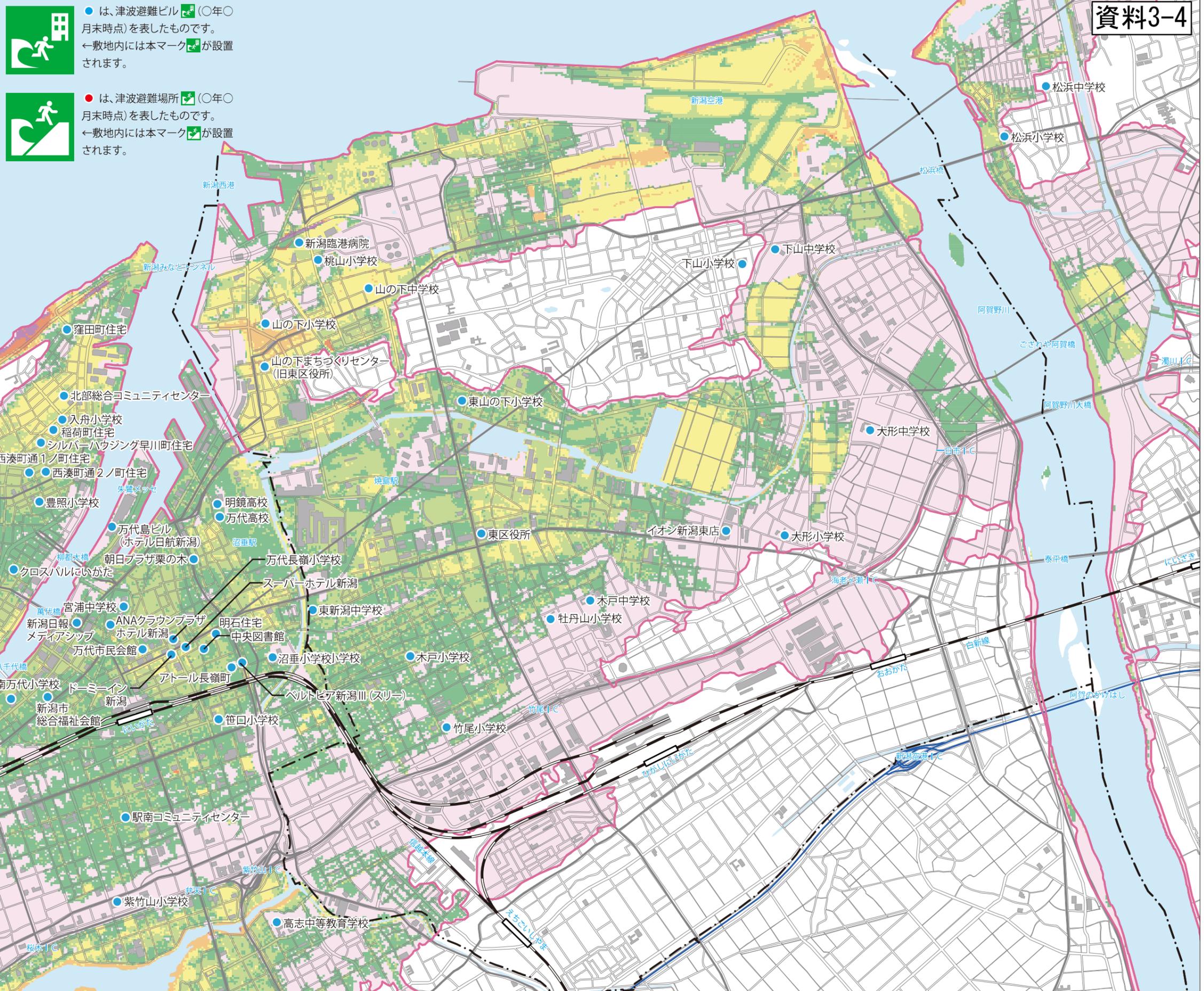
自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先(遠方の親戚・知人・病院等)

氏名 施設名		氏名 施設名	
住所		住所	
電話番号		電話番号	



- は、津波避難ビル (○年○月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。
- は、津波避難場所 (○年○月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。

凡例

新潟県津波浸水想定(H24年度) 要避難区域 → ~0.5m未滿 0.5~1.0m未滿 1.0~2.0m未滿 2.0~3.0m未滿 3.0~5.0m未滿 5.0~10.0m未滿 避難対策区域*

*避難対策区域とは、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基盤地図情報を使用しました。(承認番号 平24情使、第886号)

- 津波避難ビル
- 津波避難場所
- 高速道路
- 主要道路
- その他の道路

江南区津波避難地図

**大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!**

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。
新潟市に来襲が予想される6地震津波(『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西緑断層帯地震』『高田平野西緑断層帯地震』の6波源)の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。
また、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

我が家の津波避難場所・津波避難ビル
防災メモとしてご使用ください。

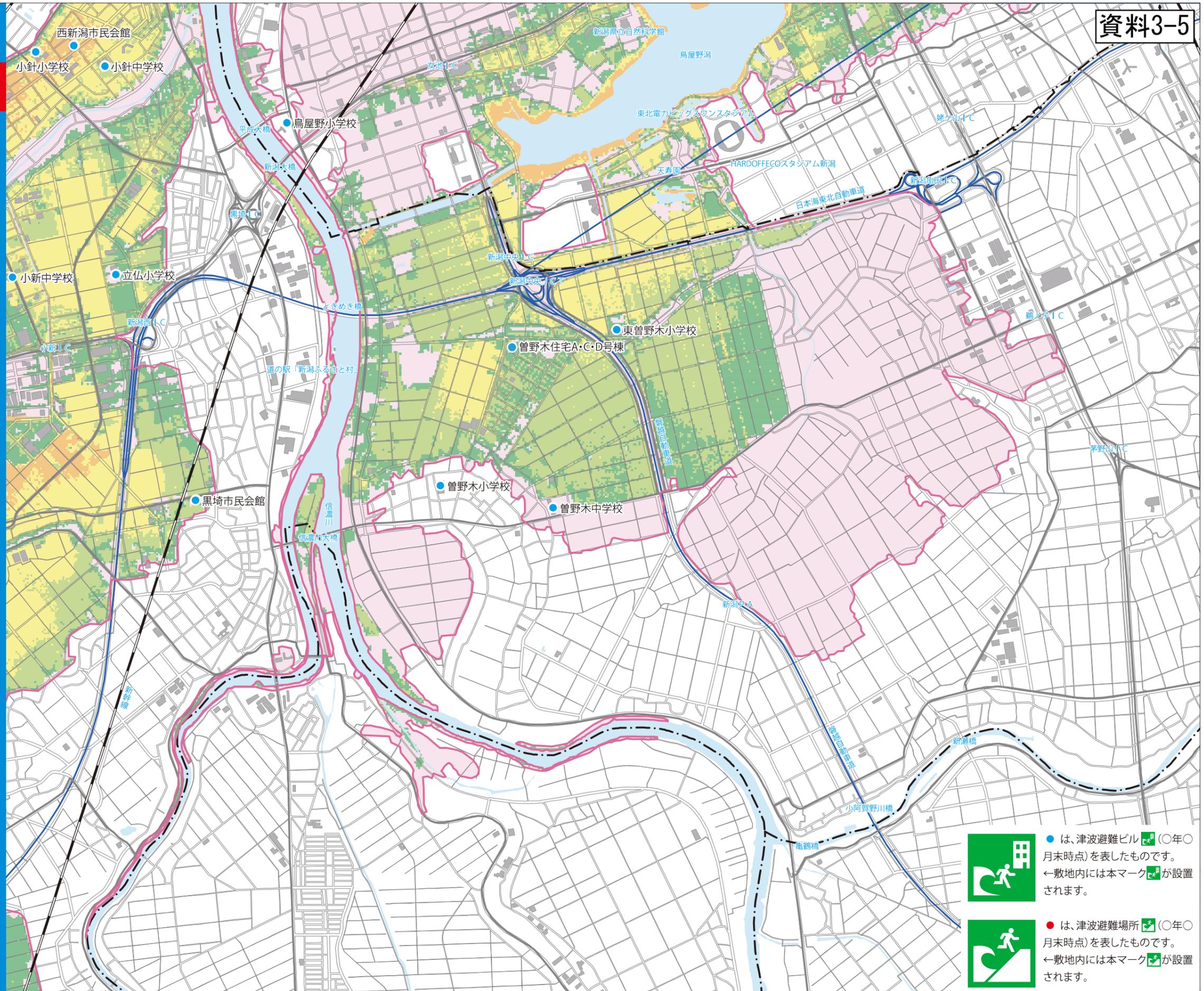
自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先(遠方の親戚・知人・病院等)

氏名 施設名		氏名 施設名	
住所		住所	
電話番号		電話番号	



● は、津波避難ビル (〇年〇月末時点) を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。

● は、津波避難場所 (〇年〇月末時点) を表したものです。
←敷地内には本マークが設置されます。

西蒲区津波避難地図

**大きな揺れを感じたら津波に注意!!
大津波・津波警報が発令されたらすぐに避難!!**

この津波避難地図は、新潟県が公表した「津波浸水想定」をもとに、中央区周辺の要避難区域や浸水の深さ、津波避難ビル・避難場所などを示したものです。

新潟市に来襲が予想される6地震津波（『佐渡北方沖地震A・B』『新潟県南西沖地震』『新潟県北部沖地震』『長岡平野西縁断層帯地震』『高田平野西縁断層帯地震』の6波源）の津波浸水想定を重ね合わせ、最も浸水深が深くなる結果を色別け表示しています。

また、6地震（6波源）による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水範囲についても避難対策区域としてピンク色で表示しています。これらについては、より発生確率は低くなっていますが、避難対策は必要です。

東日本大震災の教訓をふまえると、予測以上の災害が起こる可能性が有ります。白地の地域についても、津波の危険性について日頃から十分な関心を持ち、いざとなれば、ご自身の判断で行動してください。

我が家の津波避難場所・津波避難ビル
防災メモとしてご使用ください。

自宅からもっとも適切な避難場所・ビル

職場からもっとも適切な避難場所・ビル

学校からもっとも適切な避難場所・ビル

緊急時連絡先（遠方の親戚・知人・病院等）

氏名 施設名		氏名 施設名	
住所		住所	
電話番号		電話番号	



- は、津波避難ビル (○年○月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マーク が設置されます。
- は、津波避難場所 (○年○月末時点) を示したものです。
←敷地内には本マーク が設置されます。



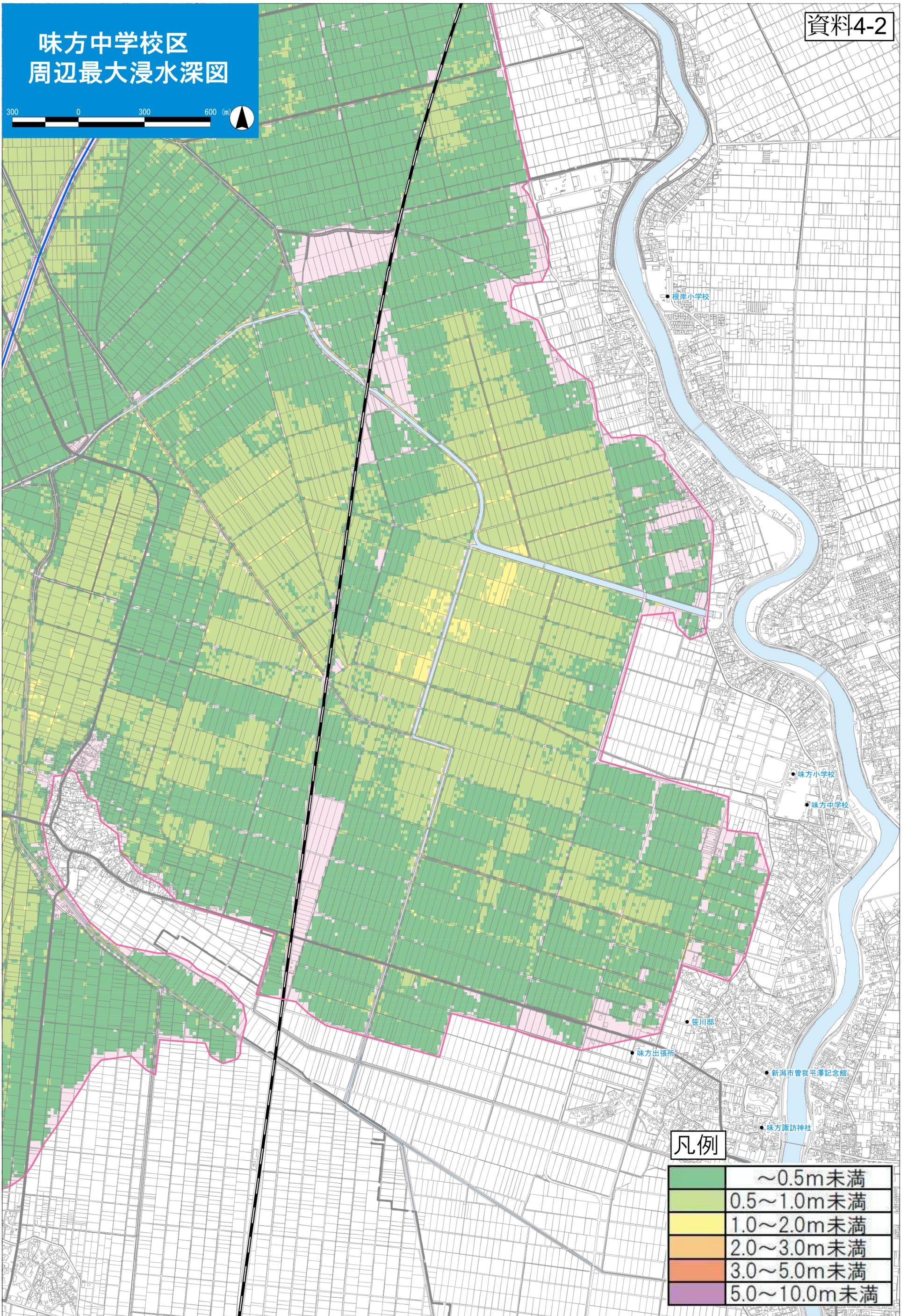
凡例 新潟県津波浸水想定 (H24年度) **要避難区域** → ~0.5m 未満 0.5~1.0m 未満 1.0~2.0m 未満 2.0~3.0m 未満 3.0~5.0m 未満 5.0~10.0m 未満 避難対策区域*

*避難対策区域とは、6地震(6波源)による津波浸水範囲以外に「新潟市に想定される2つの3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため津波浸水想定区域と合わせて要避難区域としました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基盤地図情報を使用しました。(承認番号 平24情使、第886号)

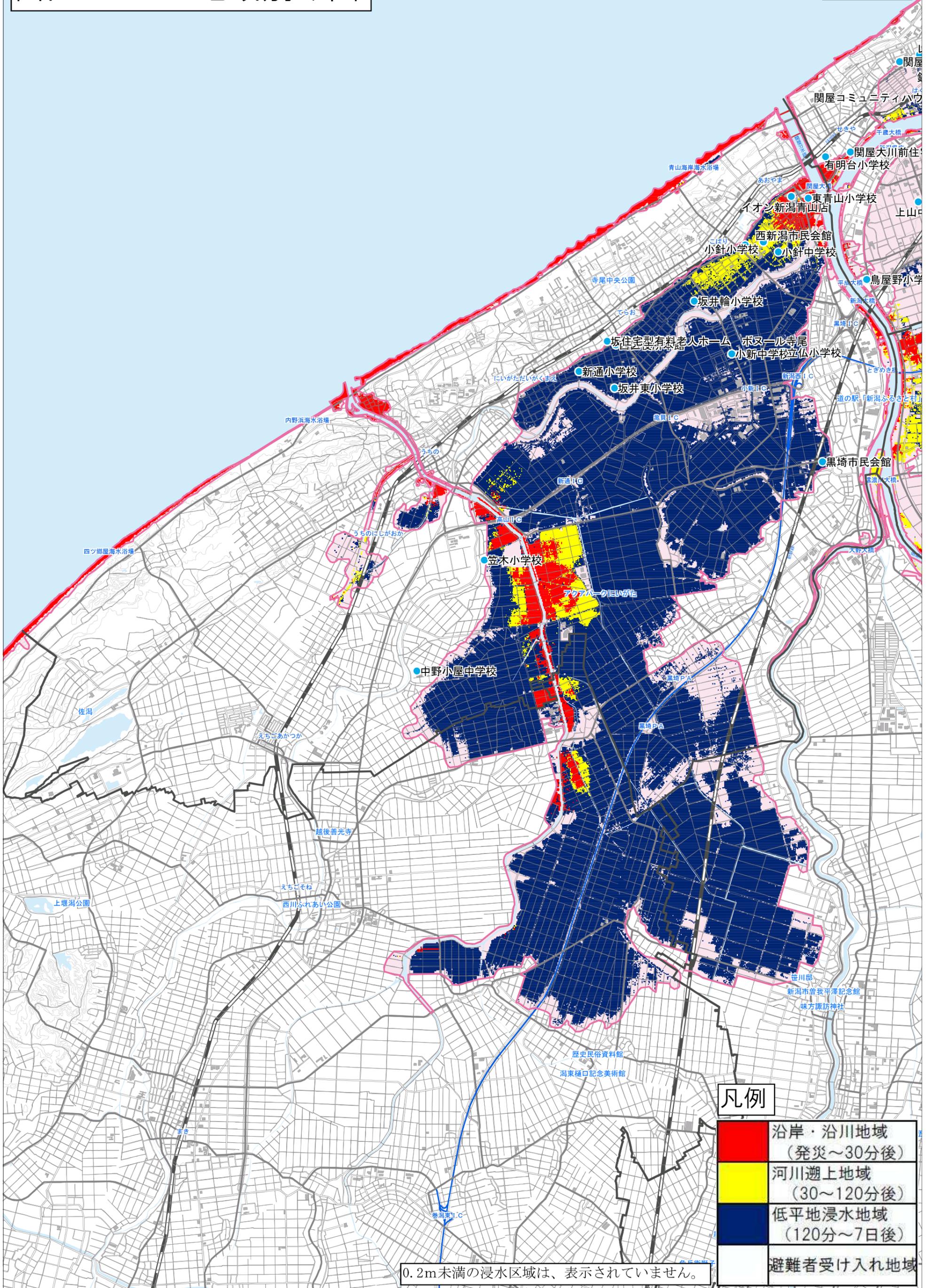
津波避難ビル 津波避難場所
 高速道路 主要道路 その他の道路

味方中学校区 周辺最大浸水深図



凡例

~0.5m未満
0.5~1.0m未満
1.0~2.0m未満
2.0~3.0m未満
3.0~5.0m未満
5.0~10.0m未満



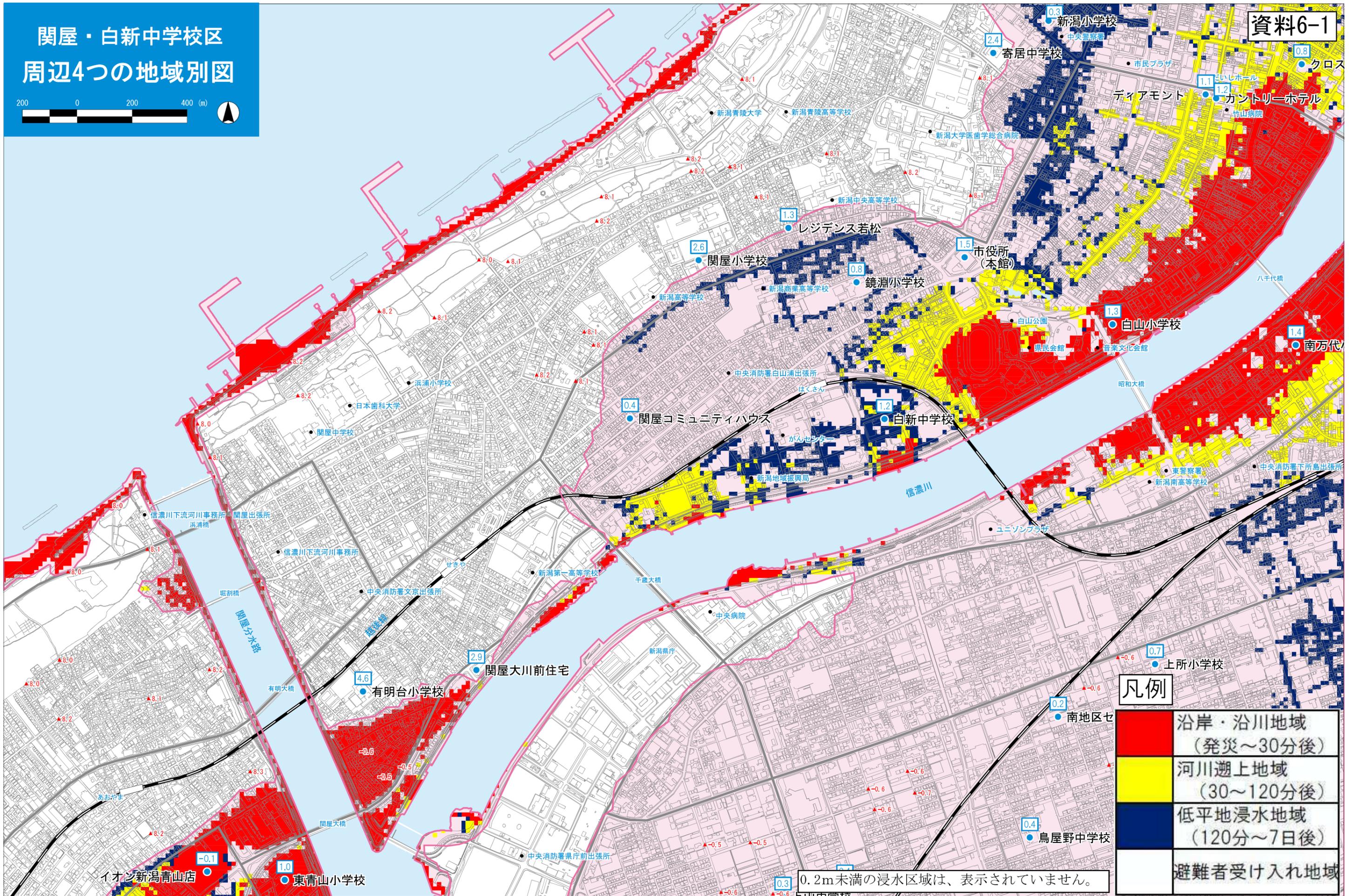
凡例	
	沿岸・沿川地域 (発災～30分後)
	河川遡上地域 (30～120分後)
	低平地浸水地域 (120分～7日後)
	避難者受け入れ地域

0.2m未満の浸水区域は、表示されていません。

関屋・白新中学校区 周辺4つの地域別図



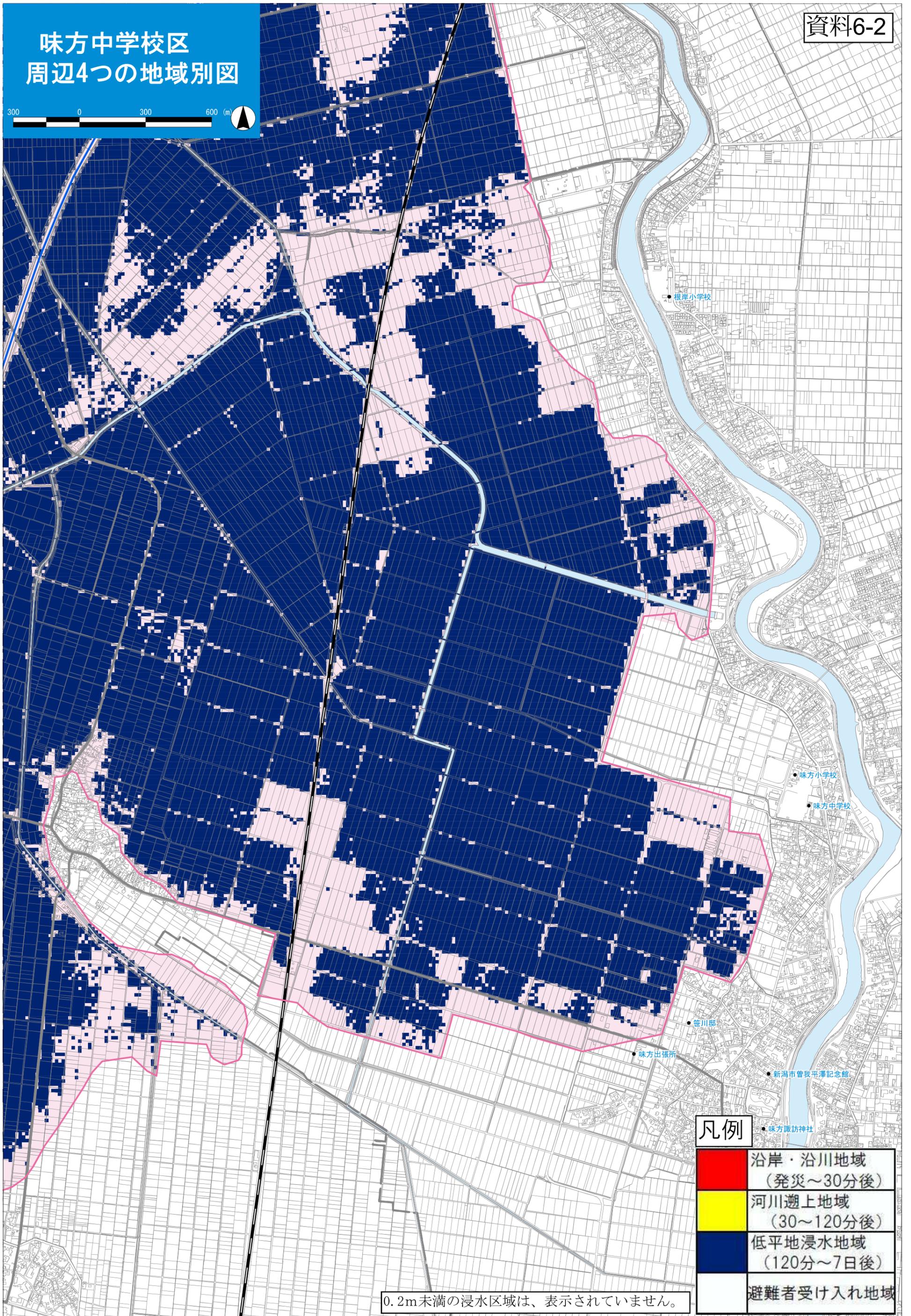
資料6-1



凡例	
	沿岸・沿川地域 (発災～30分後)
	河川遡上地域 (30～120分後)
	低平地浸水地域 (120分～7日後)
	避難者受け入れ地域

0.2m未満の浸水区域は、表示されていません。

味方中学校区 周辺4つの地域別図



凡例

	沿岸・沿川地域 (発災～30分後)
	河川遡上地域 (30～120分後)
	低平地浸水地域 (120分～7日後)
	避難者受け入れ地域

0.2m未満の浸水区域は、表示されていません。